

# 國分寺野球部

OB・OG会だより




ISSUE NO.1・2022.03



6 009800 461091





**03** 会長あいさつ

**04** 監督あいさつ

**05** 2021年夏・秋大会実績

**06** 前主将より

**07** 新主将より

**08** 夏大会&秋大会を終えて

**10** 寄贈ご報告

**11** Photo gallery

# 会長あいさつ

OB OGの皆さまこんにちは。この度OB会としてはじめて会報を出すにあたり、ご挨拶をさせていただきます。

昨年春頃の幹事会で、「OB会報」なるものを出してはどうか、という話題になりました。私自身は、母校の大学硬式野球部で会報が定期発行されており、現役の試合の観戦記や寄稿文を楽しんでいますし、シンカン先生（故川本先生）が「OB会だより」や「球魂」で現役チームの紹介やOB野球・ゴルフ会を案内してくれるのを楽しみにしていたことを、オンラインで集まった幹事の皆さんと共有・共感し、ここに実現する運びとなりました。

国分寺高校野球部OB会は、軟式時代12年と、そこから約40年の硬式時代を、現役生を含めた約860名が紡いで今に至ります。会則にもある通りOB会の目的は、野球部を経済的に支援することと会員相互の親睦です。その目的を達成するためにも、OB OG同士の、またOB OGと現役との"つながり"を大切にしていきたいと考えています。会員数も年々増え、同時にネットの時代となり、シンカン先生と同じものを届けていくことは難しいかもしれませんが、同じ想いで"つながり"を感じられるよう、新しい「国分寺高校野球部OB・OGだより」を会員の皆さんにお届けしていきたいと考えています。

総会でご案内したように昨秋アンケートを実施しました。様々なご意見を頂戴することが出来ました。ご回答を頂いたOB OGの皆さまには感謝申し上げます。全てにお応えすることは難しいかもしれませんが、開かれたより良いOB会を目指し運営して行きたいと思えます。頂いたお声の中には、「現役の様子をもっと知りたい」、「同期の動向を知りたい」、といったお声もありました。今回の「国分寺高校野球部OB・OGだより」が、少しでも会員の皆さまのご期待に添えるものになるよう、幹事一同で知恵を絞り工夫していきたいと思えます。

引き続きOB会活動へのご理解とご支援をお願いいたします。メールでのご意見や、幹事会へのオープン参加も受け付けております。またゴルフ大会や野球大会、マスターズ野球等各種イベントへも振るってご参加ください。

最後になりますが、会員の皆さまのご健康とご多幸を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。有難うございました。

令和4年3月

コッコー、  
ファイツ!

国分寺高校野球部  
OB会会長  
12期 高辻 聡







# 野村監督より

平素よりご支援、ご声援ありがとうございます。国分寺高校野球部の監督に就任してから1年が経ちました。初めて監督をさせていただく中で、上手くいった事、そうでない事、様々な決断をする中での葛藤が沢山ありました。

今年の夏に引退したチームはそれぞれがやりたい事を持ち、意見を主張する個性派集団でした。コロナによる活動休止期間も絡み、チームの浮き沈みも激しかったです。しかし、周りの方々の支えもあって夏の大会を迎えることが出来ました。結果としては、1,2回戦と勝ち上がり、3回戦八王子高校に対してコールド負け。難しい状況の中、選手たちはよく戦ってくれました。しかし勝ち負けは相手がいる事なので付いてくるものですが、競った勝負が出来なかった事は自分の中で大きな反省として残りました。

そして新チームが始まりました。今回のチームは、冬に活動休止期間があったのが影響して、全体的に身体が小さくパワーに欠けるチームです。選手たち自身も、新チーム最初のミーティングで「守備からリズムの作れるチーム」を目標にしました。まず夏休み中に、すぐ試合で出たミスとしては内野外野のカットプレーでした。外野、カットマン、受け手がそれぞれ勝手に動く、声掛けをしない、ミスが出てそのままにする、といったコミュニケーションが取れていませんでした。全体的に真面目でおとなしい選手が多いので、秋頃には練習中の会話が少し増えてきましたが、まだまだ足りないのが現状です。

迎えた秋季大会1回戦足立西では、とにかく「試合の入り」、「ロースコアでの我慢」が、どこまでできるかがポイントになると選手に話していました。2回までは良かったのですが、3,4回と守備のミスから失点に繋がってしまいました。何とか勝てましたが、ミスからの失点という守備からリズムが作れなかった、すっきりしない試合でした。2回戦明星では、内野のエラーがありながら、投手が冷静に相手打線を抑えてチームを鼓舞してくれていました。しかし、結果としては、9回裏2outランナーなしから四死球やエラーで同点、10回に逆転を許し、敗退となりました。改めて勝負は甘くない事を実感しました。今回の大会を通して、自分たちの足りない事、通用した事を精査していき、選手と共に精進していきたいと思えます。また、これからも、国分寺高校野球部を引き続き応援よろしくお願い致します。



# 2021年 夏・秋 大会実績

## 2021年 夏季大会

7月9日@多摩一本杉球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H
国分寺	3	0	0	1	4	0	0			8	13
多摩大聖ヶ丘	0	0	0	0	0	0	0			0	2

7月11日@立川球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H
国分寺	2	0	0	0	1	3	0	0	0	6	11
成蹊	1	0	0	0	2	1	0	0	0	4	6

7月17日@八王子球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H
国分寺	0	0	0	3	0	0				3	4
八王子	6	0	0	2	4	1x				13	11

## 2021年 秋季大会

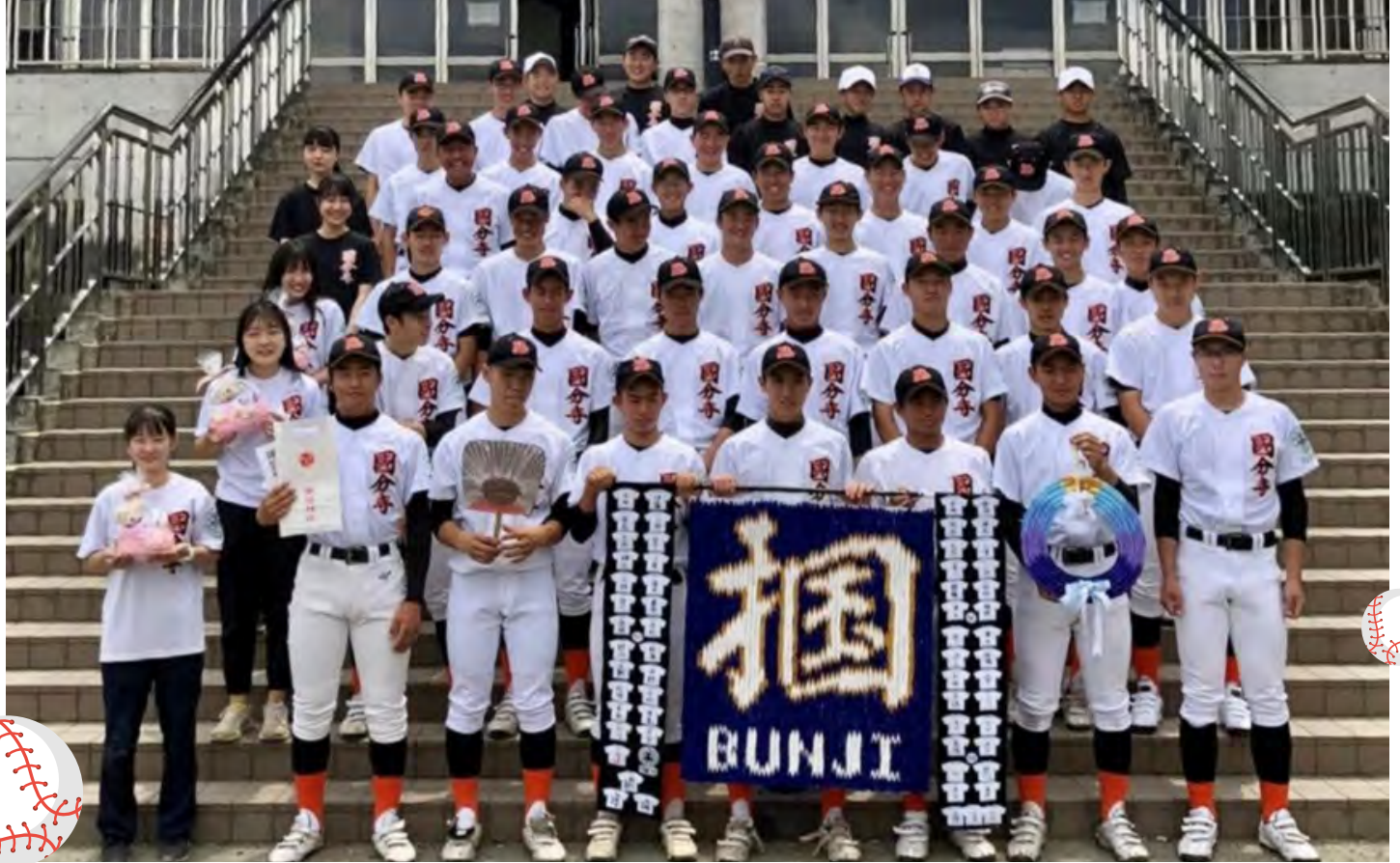
9月4日@明星高校G

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H
足立西	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	4
国分寺	0	0	2	2	2	0	1	0	x	7	10

9月11日@明星高校G

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H
国分寺	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	9
明星	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1x	3	7





# 前主将より 引退に添えて

前主将 現3年 伊藤隆人

この1年を振り返ったとき、自分達51期はただでさえまとまりがなかった上に監督が途中で交代するなど、様々な問題がありました。保護者の方々、OBOGの方々に支えて頂き、最後まで戦うことができました。結果は3回戦敗退という形になってしまいましたが、沢山の応援ありがとうございました。このコロナ禍で最後の夏を迎えることができたこと、制限が多い中でも練習ができたことは、本当に多くの方の協力がなければならなかったことだと。この1年を通して、身にしみて感じました。そういった自分たちの為に動いてくださっている方が沢山いることを忘れず、次のステージへ進んでいけたらと思います。今まで本当にありがとうございました。





2021年夏季大会

Photo by Kazuma Suzuki(9期)

# 新チーム始動 新主将より

## 新主将 2年船橋秀真

自分達、52期、53期のチームは“歴代最強”を目標に活動します。過去、成し得なかった、西東京ベスト4を通過点とし、甲子園出場に向け、新たなことに挑戦していきたいと思っています。

自分達の強みは、経験豊富なバッテリーを始めとした、守りからリズムを作ることです。明らかに体が小さいので、一発に頼ることなく、繋ぐ野球で戦っていきます。

最後まで、決して後悔しない様、お互いに刺激し合いながら、チーム力を高め、チーム全員が欠かせない存在となり、一戦一戦、全員野球で臨んでいきます。

人数は少ないですが、先輩たちを越えることを使命とし、志を高く、練習に励んでいきます。



# 夏大会&秋大会を終えて



日頃より国分寺高校硬式野球部へのご支援とご声援、感謝申し上げます。既に新チームがスタートしておりますが、昨年夏の選手権大会（51期）と秋季大会（52期）につきまして、簡単ではありますが、以下の通りご報告をさせていただきます。

外部指導員 25期 大澤晃弘



2021年夏季大会  
Photo by Kazuma Suzuki(9期)

## 夏の選手権大会（51期）

伊藤キャプテンを中心にスタートさせた51期。秋の新人戦は桜美林に完敗し、春は緊急事態宣言により一次予選は中止となった。コロナ禍により練習時間や活動も大きく制限され、思ったようなチーム作りや個々のパフォーマンスを上げることができず、苦慮しながらも迎えた夏の選手権大会。

1回戦 多摩大聖ヶ丘戦、エース石井君を中心に7回コールドながらも完封でシャットアウト。

2回戦 成蹊戦、序盤から先制点を上げるものの、成蹊打線も食らいついてきて中々突き放せなかったものの、粘り強く競り勝った。

一戦一戦重ねる毎にチームに一体感が生まれ、選手達が成長していることを肌で実感していた中で迎えた3回戦 第三シードの八王子戦、夏晴れの八王子球場。

初回から八王子の猛攻を受け突き放されそうになるも、5回代打斎藤君（2年生）の2ランホームランもあり追い上げムードが漂ったが、八王子ベンチがすかさず投手を変え、チャンスの芽を摘まれた。最後は八王子打線に猛攻を受け、我々はここで涙を流すこととなった。

今大会には51期6名がベンチ入りメンバーから外れたが、この間献身的にチームを支え、最後まで声援を送り続けていたのが印象的だ。最後のミーティングで流した涙はこの大会にかける意気込みと、ここまで努力してきた証だっと思ったと思っている。

6回コールド	☆64	八	王	子
13	17(土)	0	9(金)	65
3	8/11:30	8	多11:30	多摩大聖ヶ丘
		6	11(日)	7回コールド
		4	立12:30	66
				67
				成



## 秋季大会（52期）

悔しさ残る中でスタートさせた52期。

船橋新キャプテンを中心に「歴代最強チーム」という目標に掲げ、新チームをスタートさせた。ここ数年、計算できるピッチャーの人数が少なかったことが悩みであったが、52期は3名の期待できるピッチャーがいる。エースで本格派の音川君。左の技巧派の原君。身長188cmでMAX140km/hの速球を投げ込む坂西くんの3名だ。

酷暑の中、練習と練習試合を重ね迎えた秋季大会1回戦 足立西戦。序盤から中盤にかけて点数を重ね、食い下がる足立西を退け、しっかりと逃げ切った。

2回戦ブロック決勝 明星戦。夏はベスト8の強豪校だ。エース音川君は再三のピンチをしのぎながら0を重ね、2-0で国分寺リードのまま迎えた9回裏。明星の代打攻勢にも2者連続三振で2アウトランナーなし。ここで「接戦で強豪校に競り勝ったことのない」チームの綻びが生じた。突如エース音川君が全くストライクが入らず、3連続フォアボール。ツーアウト満塁となり、打ち損じたボテボテのサードゴロをサード小澤君が懸命に捌いたものの、ファーストへのボールが逸れ、またファースト野口君もそれを後逸し、結果同点とされた。この先は言うまでもなく10回裏にサヨナラ負けを喫した。

奇しくも9.11という日に惜敗したこの試合は、野球の神様が「国分寺高校は簡単に勝ってはいけない」という試練を与えてくれたのだと思っている。

誰もがエース音川君はよく投げたと思っている。しかし9回ツーアウトからの連続四球。5個のエラーで足を引っ張った内野の守備。再三にわたるチャンスにも1本が出ず、優勢な試合展開に持ち込めなかった打線。このチームに突きつけられた課題は明確だ。

次は春の予選会からの出場。自ら逃した勝利を、次は自らの手で掴み取れるように、しっかりと準備をしていきたい。





# 現役チームへの 寄贈ご報告

－16期 山崎慎司

日頃より国分寺高校硬式野球部へのご支援、ご声援ありがとうございます。

国分寺高校野球部OB会への関与の程度は、各OBOG会員様々ではありますが、現役野球部の勝利に対する思いは皆同じだと思います。ただし、現実、野球の勝利にはお金がかかることもご承知のことと思います。特に、都立校であるがゆえ、学校からの予算に多くを期待できず、かねてからの課題である私立強豪校突破を達成するためには、私立校以上にOB会の金銭的サポートが必至の状況です。我々OB会は「金は出すが、口は出さない」を信条に、野球部活動への金銭的バックアップサポートに徹してきています。

我々OB会は、2018年にピッチングマシーン（80万円相当）の新調、2019年はレガーズ等のキャッチャー道具一式、2020年はバッティング練習用サンドバック等を現役チームに提供してきました。



今年度も新チームの戦力アップのため、寄贈品を決定する予定です。従来通り、現役チーム及び監督からの要望を優先的に聞くことはもちろんのこと、コーチ陣からの戦力分析の結果やOBOGアンケートをもとにより提案ができればと考えております。OBOG会員の中には各方面で継続的に野球に携わっている方も多くいらっしゃいます。現役チームのために有益なアイデアがありましたら、ぜひご意見を伺いたいと思います。OBOG会員の経験、英知、熱意をかき集めて現役チームをバックアップしていきましょう。





おまけ

# PHOTO GALLERY

---

Photographs by Kazuma Suzuki

国分寺高校9期の鈴木一馬さんが、  
2021年の夏大会の写真を撮ってくれました。  
鈴木さんは陸上部出身で、現在は児童書の制作や  
写真撮影を行っており、野球部の応援にも  
よく来てくださっています。

素敵な写真がたくさんありますので、  
共有させていただきます。

閲覧リンクは3ヶ月です。  
必要なお写真は2022年5月末までに  
ダウンロードをお願いします。



●2021/7/9  
夏大会第1回戦  
国分寺vs多摩大聖ヶ丘



●2021/7/11  
夏大会第2回戦  
国分寺vs八王子

